

第15号  
平成27年 5月 31日発行  
社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団  
おおぞらのいえ  
〒651-2181  
神戸市西区曙町1070  
TEL (078) 927-2727 (代)  
FAX (078) 925-9253

# おおぞらだより



桜花爛漫の季節を迎え、心浮き立つところとなり、少しずつ、野や山の若葉、青葉をわたる風も心地よく感じられるのが待ち遠しい季節もあります。

平成27年度がはじまり、「おおぞらのいえ」も新しい年度を迎えるました。

昨年度は、施設に併設の兵庫県立のじぎく特別支援学校おおぞら分教室の高等部が本校に移り、対象の3名の児童の生活は一変し、当初はバタバタな時期もありましたが、今はそれが懐かしく思えます。今年度は高等部通学4名が加わり、合計で8名の児童が高等部に通学します。

本校への高等部通学は小学部・中学部生徒への良い刺激となり、また高等部生徒は先輩としての振るまいが求められる等、新たな変化が施設全体にまで良い影響を与えていています。そして「おおぞらのいえ」の新たな息吹は子供たちの成長そのものであり、これからに期待していきたいと思います。

さて、「おおぞらのいえ」は平成20年度に開所し、これまで、総合リハビリテーションセンターの機能を活かし、また多くのボランティアに支えられながら、発展してきましたが、今年度は、地域に根ざした施設運営に取り組み、日中一時支援事業において、神戸市に加え、明石市との契約締結を、また児童発達支援事業所では、保護者会の運営の支援、これまで培ったノウハウの発信等、「おおぞらのいえ」にとって、新たな1ページに加えていきます。

さらに、昨年度実施の外国语大学在籍の留学生との交流や、イルカに直接触れる機会をはじめ、多くの新たな経験は利用児童のその後の施設生活に大きな変化をもたらしています。これからも可能性の追求に努めていきたいと思います。

すばらしい環境の中に囲まれた「おおぞらのいえ」の利用児童は、いつもキラキラと輝き、そして笑顔に満ち溢れているパワーをいただきながら、それぞれの児童一人ひとりの「心を育む」という願いをもとに、安全で、安心なすばらしい施設づくりを、職員一同、力をあわせて取り組んでまいりますので、今後ともご理解、ご協力をお願いします。どうぞよろしくお願いします。



新しい年度を迎えて

障害児入所施設 おおぞらのいえ  
所長 謝 世業

# 『ハーフ♪歌合戦』

支援員 中山 実代子

3月30日に1年を振り返る会を行いました。その中で、子ども達による歌合戦が行われ、それぞれが好きな歌を披露してくれました。子ども達の一生懸命な姿は、職員の感動を誘いました。おおぞらのいえに賑やかな声が響き渡った1日でした。

支援員 南 智先

初めてまして、この度『おおぞらのいえ』に勤務することになりました。新しい職場で期待と不安でドキドキしていましたが、『おおぞらのいえ』では、子どもたちに笑顔で迎えていただき緊張がとれました。一人ひとりが安心・安全に過ごせるよう、子どもたちの気持ちを受け止め信頼関係を築いていけるようにしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。



支援員 増田 文子

4月よりおおぞらに異動してきました増田と申します。子どもたちが安心して生活し、成長していくよう医療面からのサポートに努めたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



支援員 藤澤 奈津美

初めてまして、藤澤奈津美と申します。今年度から職種が変わり、不安もありましたが、子ども達や職員の方々に歓迎していただき、毎日楽しくお仕事をさせて貰っています。支援員としてこれから利用者さんと一緒に成長していきたいと思います。

## 『編集後記』

おおぞらだより15号が出来上がりました。

子どもたちもそれぞれ学年が上がり、気持ち新たに新生活がスタートしています。今日もおおぞらのいえには子ども達の笑顔が溢れています。次回も、子どもたちの様々な様子を届けていきたいと思いますので、楽しみにしてください。



春先のご旅行は保養荘へ  
今が旬の『ホタルイカ』を食べ尽くせ!  
1泊2食9,750円~  
**浜坂温泉保養荘**  
〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775  
(0796) 82-3645

## 『ドキドキ ワクワク 一年生』



支援員 松本 優紀

## 『春を感じに…』



支援員 石美 樹梨

4月9日にのじぎく特別支援学校高等部、おおぞら分教室小学部、中学部の入学式がありました。新入生は、制服やスーツに身を包み、とても凛々しい顔で挑んでいました。高等部は、これから毎朝7時20分のバスで登校します。新たに4名の児童が加わり、8名が高等部に通います。分教室は、小学部が3名、中学部は、5名になります。



おおぞらのいえでは、毎年、新年度初めの行事として『お花見』を開催しています。今年は、雨天続きで桜が散つてしまわなかと心配しましたが、無事、みんなで満開の桜を見ることができました。満開の桜の下で、ジュースで乾杯！おやつを食べながら和気藹々と楽しい時間を過ごしました。



## 『旅立ちとはじまり』

支援員 北川 有里佳



平成20年5月におおぞらのいえ児童デイサービスが開設し、はや7年が過ぎました。平成24年4月にはおおぞらのいえ児童発達支援事業所と名称を変更しています。この3月には開設して7回目となる退所式がありました。1年前の入所式では落ち着かず席を離れてしまったり、いつもと違う雰囲気に不安を感じて泣いていた子どもたちでしたが、1年で大きく成長しました。「ありがとう。」といつて堂々と証書をもらう姿を見ると、子どもたちがお友だちと刺激し合い、様々なことに挑戦し、少しずつ積み上げてきたものが大きな実になったことを実感しました。これからどのような花を咲かせるかとても楽しみです。4月に入つてからは、退所した子どもたちが可愛い体操服姿やぴかぴかのランドセル姿を見せに来てくれました。その顔は少し見ない間にお兄ちゃん、お姉ちゃんの表情になつて、またまた成長を感じました。退所後も様々な形でサポートさせて頂ければと思います。

この4月には新しいお友だちが10名増えました。今までずっと一緒にいた大好きなお母さんと離れることが寂しくて泣いている子どももいますが、お友だちの遊んでいる様子を見て、少しずつ笑顔が見られたり、取り組みに参加できることも増えてきました。お友だちや職員に挨拶ができるようになつたり、お片付けができるようになつたりと、保護者の方が「こんなこともできるんだ！」と驚かれることも多くあります。お母さんと離れて、お友だちの取り組む姿に刺激を受け、「ぼくもできる！」「私もやりたい！」そんな思いが背中を押して挑戦する力になっています。私たちはこれからも、その力を引き出していけるよう、より良い支援を目指して努力していきたいと思います。